

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・2グループ		担当者名	○港 晶未
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末やアプリの操作方法について、基礎的な知識と技能を身に付ける。 (2)タブレット端末を活用し、必要なデータを選択したり、表現することができる。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集や情報整理を行おうとする。			
曜日・校時・時間		月曜日・6時間目・13:20～14:10			
指導場所		パソコン室			
年間授業時数		35 時間			
使用教科書		やってみよう！やさしい言葉で学べる「情報」(ジーアス教育新社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	スマートスクール端末について知ろう！	3	○タブレット端末の概要を知る。 □スマートスクール端末でできること等、概要を知る。(知識・技能) □使用するときのルールやマナーについて考える。(思考・判断・表現)	※ 端末が整備されていないので、 教員のタブレット端末をモニターに 映したり、副教材や予備機等を活 用する。	
5	スマートスクール端末 を設定しよう！ 使っ てみよう！ 基本操作を覚 えよう！	7	○タブレット端末の初期設定を行い、基本操作に慣れる。 □パスコードやパスワードの設定・管理、校内Wi-Fi接続、Teamsの設定・活用方法、 タッチペンの使い方を覚える。(知識・技能) □タッチ・タップ・ドラック・ドロップ・フリック・スワイプの基本操作を練習アプリを活用し て習得する。(思考・判断・表現)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせ て進めていく。 ・集中して話を聞くことができる よう、タブレット端末を渡すタイミン グを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する 際は、音量に配慮する。 ・入力そのものが難しい生徒につ いては、教員が支援する。	
6					
7	いろいろな入力方法を 使ってみよう！	3	○ローマ字、かな、フリック、手書き、音声などの入力方法を体験して、自分がやりやす い入力方法を知る。 □キーボード設定を含め、様々な入力方法を試す。(知識・技能) □自分に合った入力方法を選択する。(思考・判断・表現)		
9	アプリやインターネット を使って移動教室(宿 舎や見学先)について 調べよう！	7	○文字や音声で検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、自分に必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット・トリミング機能や文書作成アプリ等を使って、自分のお気に 入りとして情報をデザインする(まとめて発表する)。 □ブラウザで検索(宿泊場所や見学先のサイト)やアプリ「マップ」「天気」などを活用し、 移動教室(宿舍や見学先)の情報を検索する。(知識・技能) □検索した情報の中で、興味をもった情報を選ぶ。(思考・判断・表現) □興味のある情報を整理してまとめ、自分のお気に入りの情報として発表する。(主体 的に学習に取り組む態度)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせ て進めていく。 ・集中して話を聞くことができるよ う、タブレット端末を渡すタイミン グを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報 モラルや情報リテラシーについて指 導する。 ・入力そのものが難しい生徒につ いては、教員が支援する。	
10					
11	写真を撮ろう！ オリジ ナルカレンダーを作ろ う！	7	○画像情報を記録し、記録した画像を選択・活用できる。 ○選択した画像を、カレンダーデータに貼り付ける。 □カメラの基本操作を覚える。(知識・技能) □カメラを使い、二次元コードを読み取る。 □写真を開き、自分で撮影した画像の中から、必要な画像を選択したり、不必要な画 像を削除する。 □スクリーンショットや撮影した画像、インターネット上の画像等を選択して、オリジナル カレンダーを作る。(思考・判断・表現) ※作品は文化祭で展示後に、家庭に持ち帰る。		
12					
1	様々な標準アプリの便 利な使い方を体験しよ う！	5	○生活に役立つアプリの使い方を知る。 □「えこみゅ」の使って必要なカードを作り会話してみる。 □「時計」のアラーム・タイマー機能を使って操作を覚える。 □「拡大機」を使って小さな物を見る。 □「計算機」を使って計算してみる。 □「計測」を使って、定規で測れない 物を測ってみる。 □「ボイスメモ」を使って、伝言ゲームをする。 □「メモ」を使って、記録できる機能を知る。 全て(知識・技能)(思考・判断・表現)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせ て進めていく。 ・集中して話を聞くことができるよ う、タブレット端末を渡すタイミン グを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報 モラルや情報リテラシーについて指 導する。 ・入力そのものが難しい生徒につ いては、教員が支援する。	
2					
3	アクセシビリティ機能 を活用しよう！	3	○自分にとって必要なアクセシビリティ機能を知る。 □アシスティブタッチ、画面表示とテキストサイズ、読み上げコンテンツ、ライブスピーチ 等の学習支援に配慮した機能を知り、自分に合った設定をする。(知識・技能)		
備考		生徒が操作になれるまでは、ICT支援員が継続的に授業に入る。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・3グループ		担当者名	○谷口 圭
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末やアプリの操作方法について、基礎的な知識と技能を身に付ける。 (2)タブレット端末を活用し、必要なデータを選択したり、表現することができる。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集や情報整理を行おうとする。			
曜日・校時・時間		月曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		パソコン室			
年間授業時数		35 時間			
使用教科書		やってみよう！やさしい言葉で学べる「情報」(ジーアス教育新社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	スマートスクール端末 について知ろう！	3	○タブレット端末の概要を知る。 □スマートスクール端末でできること等、概要を知る。(知識・技能) □使用するときのルールやマナーについて考える。(思考・判断・表現)	※ 端末が整備されていないので、 教員のiPadをモニターに映したり、 副教材や予備機等を活用する。	
5	スマートスクール端末 を設定しよう！ 使っ てみよう！ 基本操作を覚 えよう！	7	○タブレット端末の初期設定を行い、基本操作に慣れる。 □パスコードやパスワードの設定・管理、校内Wi-Fi接続、Teamsの設定・活用方法、 タッチペンの使い方を覚える。(知識・技能) □タッチ・タップ・ドラッグ・ドロップ・フリック・スワイプの基本操作を練習アプリを活用 して習得する。(思考・判断・表現)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・集中して話を聞くことができるよう、タブレット端末を渡すタイミングを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する際は、音量に配慮する。 ・入力そのものが難しい生徒については、教員が支援する。	
6					
7	いろいろな入力方法を 使ってみよう！	3	○ローマ字、かな、フリック、手書き、音声などの入力方法を体験して、自分がやりやすい入力方法を知る。 □キーボード設定を含め、様々な入力方法を試す。(知識・技能) □自分に合った入力方法を選択する。(思考・判断・表現)		
9	アプリやインターネット を使って移動教室(宿 舎や見学先)について 調べよう！	7	○文字や音声で検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、自分に必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット・トリミング機能や文書作成アプリ等を使って、自分のお気に入りとして情報をデザインする(まとめて発表する)。 □ブラウザで検索(宿泊場所や見学先のサイト)やアプリ「マップ」「天気」などを活用し、移動教室(宿舎や見学先)の情報を検索する。(知識・技能) □検索した情報の中で、興味をもった情報を選ぶ。(思考・判断・表現) □興味のある情報を整理してまとめ、自分のお気に入りの情報として発表する。(主体的に学習に取り組む態度)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・集中して話を聞くことができるよう、タブレット端末を渡すタイミングを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。 ・入力そのものが難しい生徒については、教員が支援する。	
10					
11	写真を撮ろう！ オリジ ナルカレンダーを作ろ う！	7	○画像情報を記録し、記録した画像を選択・活用できる。 ○選択した画像を、カレンダーデータに貼り付ける。 □カメラの基本操作を覚える。(知識・技能) □カメラを使い、二次元コードを読み取る。 □写真を開き、自分で撮影した画像の中から、必要な画像を選択したり、不必要な画像を削除する。 □スクリーンショットや撮影した画像、インターネット上の画像等を選択して、オリジナルカレンダーを作る。(思考・判断・表現) ※作品は文化祭で展示後に、家庭に持ち帰る。		
12					
1	様々な標準アプリの便 利な使い方を体験しよ う！	5	○生活に役立つアプリの使い方を知る。 □「えこみゅ」の使って必要なカードを作り会話してみる。 □「時計」のアラーム・タイマー機能を使って操作を覚える。 □「拡大機」を使って小さな物を見てみる。 □「計算機」を使って計算してみる。 □「計測」を使って、定規で測れない物を測ってみる。 □「ボイスメモ」を使って、伝言ゲームをする。 □「メモ」を使って、記録できる機能を知る。 全て(知識・技能)(思考・判断・表現)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べるように、生徒のペースに合わせて進めていく。 ・集中して話を聞くことができるよう、タブレット端末を渡すタイミングを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面を投影し、学習内容や操作方法を分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報モラルや情報リテラシーについて指導する。 ・入力そのものが難しい生徒については、教員が支援する。	
2					
3	アクセシビリティ機能 を活用しよう！	3	○自分にとって必要なアクセシビリティ機能を知る。 □アシスティブタッチ、画面表示とテキストサイズ、読み上げコンテンツ、ライブスピーチ等の学習支援に配慮した機能を知り、自分に合った設定をする。(知識・技能)		
備考		生徒が操作になれるまでは、ICT支援員が継続的に授業に入る。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・4グループ		担当者名	○豊田 真悠子
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末やアプリの操作方法について、基礎的な知識と技能を身に付ける。 (2)タブレット端末を活用し、必要なデータを選択したり、表現することができる。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集や情報整理を行おうとする。			
曜日・校時・時間		月曜日・7時間目・14:15～15:05			
指導場所		視聴覚室			
年間授業時数		35 時間			
使用教科書		やってみよう！やさしい言葉で学べる「情報」(ジーアス教育新社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	スマートスクール端末 について知ろう！	3	○タブレット端末の概要を知る。 □スマートスクール端末でできること等、概要を知る。(知識・技能) □使用するときのルールやマナーについて考える。(思考・判断・表現) 【教科書】p12～15 【副教材】・初期設定手順書iPad第11世代(A16)p12～p59	※ 端末が整備されていないので、 教員のものをモニターに映したり、副教材 や予備機等を活用する。	
5	スマートスクール端末 を設定しよう！ 使って みよう! 基本操作を覚 えよう!	7	○タブレット端末の初期設定を行い、基本操作に慣れる。 □パスコードやパスワードの設定・管理、校内Wi-Fi接続、Teamsの設定・活用方法、 タッチペンの使い方を覚える。(知識・技能) □タッチ・タップ・ドラッグ・ドロップ・フリック・スワイプの基本操作を練習アプリを活用 して習得する。(思考・判断・表現)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせ て進めていく。 ・集中して話を聞くことができ よう、タブレット端末を渡すタイミン グを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する 際は、音量に配慮する。 ・入力そのものが難しい生徒につ いては、教員が支援する。	
6					
7	いろいろな入力方法を 使ってみよう!	3	○ローマ字、かな、フリック、手書き、音声などの入力方法を体験して、自分がやりやす い入力方法を知る。 □キーボード設定を含め、様々な入力方法を試す。(知識・技能) □自分に合った入力方法を選択する。(思考・判断・表現)		
9	アプリやインターネット を使って移動教室(宿 舎や見学先)について 調べよう!	7	○文字や音声で検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、自分に必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット・トリミング機能や文書作成アプリ等を使って、自分のお気に入り として情報をデザインする(まとめて発表する)。 □ブラウザで検索(宿泊場所や見学先のサイト)やアプリ「マップ」「天気」などを活用 し、移動教室(宿泊や見学先)の情報を検索する。(知識・技能) □検索した情報の中で、興味をもった情報を選ぶ。(思考・判断・表現) □興味のある情報を整理してまとめ、自分のお気に入りの情報として発表する。(主体 的に学習に取り組む態度)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせ て進めていく。 ・集中して話を聞くことができよう、 タブレット端末を渡すタイミン グを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報 モラルや情報リテラシーについて 指導する。 ・入力そのものが難しい生徒につ いては、教員が支援する。	
10					
11	写真を撮ろう! オリジ ナルカレンダーを作ろ う!	7	○画像情報を記録し、記録した画像を選択・活用できる。 ○選択した画像を、カレンダーデータに貼り付ける。 □カメラの基本操作を覚える。(知識・技能) □カメラを使い、二次元コードを読み取る。 □写真を開き、自分で撮影した画像の中から、必要な画像を選択したり、不必要な画 像を削除する。 □スクリーンショットや撮影した画像、インターネット上の画像等を選択して、オリジナ ルカレンダーを作る。(思考・判断・表現) ※作品は文化祭で展示後に、家庭に持ち帰る。		
12					
1	様々な標準アプリの便 利な使い方を体験しよ う!	5	○生活に役立つアプリの使い方を知る。 □「えこみゅ」の使って必要なカードを作り会話してみる。 □「時計」のアラーム・タイマー機能を使って操作を覚える。 □「拡大機」を使って小さな物を見てみる。 □「計算機」を使って計算してみる。 □「計測」を使って、定規で測れない物を測ってみる。 □「ボイスメモ」を使って、伝言ゲームをする。 □「メモ」を使って、記録できる機能を知る。 全て(知識・技能)(思考・判断・表現)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせ て進めていく。 ・集中して話を聞くことができよう、 タブレット端末を渡すタイミン グを工夫する。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報 モラルや情報リテラシーについて 指導する。 ・入力そのものが難しい生徒につ いては、教員が支援する。	
2					
3	アクセシビリティ機能 を活用しよう!	3	○自分にとって必要なアクセシビリティ機能を知る。 □アシスティブタッチ、画面表示とテキストサイズ、読み上げコンテンツ、ライブスピーチ 等の学習支援に配慮した機能を知り、自分に合った設定をする。(知識・技能)		
備考		生徒が操作になれるまでは、ICT支援員が継続的に授業に入る。 生徒の実態に応じて、後期以降、毎回の授業の中でタイピングの時間を設定する。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・5グループ		担当者名	○島田 颯太
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末やアプリの操作方法について、基礎・応用的な知識と技能を身に付ける。 (2)タブレット端末を活用し、必要なデータを選択したり、表現することができる。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集や情報整理を行おうとする。			
曜日・校時・時間		月曜日・3時間目・9:50～10:40			
指導場所		視聴覚室			
年間授業時数		35 時間			
使用教科書		やってみよう！やさしい言葉で学べる「情報」(ジーアス教育新社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	スマートスクール端末 について知ろう！	3	○タブレット端末の概要、情報リテラシーについて知る。 □スマートスクール端末でできること等、概要を知る。(知識・技能) □情報リテラシーについて、自身の事として考える。(思考・判断・表現)	※ 端末が整備されていないので、 教員の端末をモニターに映したり、 副教材や予備機等を活用する。	
5	スマートスクール端末 を設定しよう！ 使って みよう！ 基本操作を覚えよう！	10	○タブレット端末の初期設定を行い、入力や基本操作に慣れる。 □パスコードやパスワードの設定・管理、校内Wi-Fi接続、Teamsの設定・活用方法、 タッチペンの使い方を覚える。(知識・技能) □タッチ・タップ・ドラッグ・ドロップ・フリック・スワイプの基本操作を習得する。(思考・ 判断・表現) □キーボード設定を含め、ローマ字、かな、フリック、手書き、音声などの入力方法を体 験して、自分に合った入力方法を選択する。(知識・技能)(思考・判断・表現)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせて 進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する 際は、音量に配慮する。	
6	いろいろな入力方法を 使ってみよう！				
9	アプリやインターネット を使って移動教室(宿 舎や見学先)について 調べよう！	7	○文字や音声で検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、自分に必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット・トリミング機能やアプリを使って、情報をデザインする(まとめて 発表する)。 □検索(宿泊場所や見学先のサイト)やアプリ「マップ」「天気」などを活用し、移動教室 (宿舎や見学先)の情報を検索する。(知識・技能) □検索した情報の中で、興味をもった情報を選ぶ。(思考・判断・表現) □興味をもった情報を整理してまとめたり、「Forms」でクイズを作ったり発表する。 (主体的に学習に取り組む態度)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせて 進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報 モラルや情報リテラシーについて 指導する。	
10					
11	文化祭ポスターを作ろ う！	7	○画像情報を記録し、記録した画像を選択・活用できる。 ○選択した画像を、カレンダーデータに貼り付ける。 □カメラの基本操作を覚える。(知識・技能) □写真を開き、スクリーンショットや撮影した画像、インターネット上の画像等を選択す る。() □必要な文字情報を入力したり、オリジナル文化祭ポスターを作成する。(思考・判断・ 表現)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせて 進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報 モラルや情報リテラシーについて 指導する。	
12					
1	様々な標準アプリの便 利な使い方を体験しよ う！	5	○生活に役立つアプリの使い方を知る。 □「時計」のアラーム・タイマー機能を使って操作を覚える。 □「拡大機」を使って小さな物を見てみる。 □「計算機」を使って計算してみる。 □「計測」を使って、定規で測れない物を測ってみる。 □「ボイスメモ」を使って、伝言ゲームをする。 □「メモ」を使って、「メモ」の様々な機能を知る。 □「翻訳」を使って、日本語を英語にする。英語を訳す。 全て(知識・技能)(思考・判断・表現)	・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせて 進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報 モラルや情報リテラシーについて 指導する。	
2					
3	アクセシビリティ機能 を活用しよう！	3	○自分にとって必要なアクセシビリティ機能を知る。 □アシスティブタッチ、画面表示とテキストサイズ、読み上げコンテンツ、ライブスピーチ 等の学習支援に配慮した機能を知り、自分に合った設定をする。(知識・技能)		
備考		生徒が操作になれるまでは、ICT支援員が授業に入る。 生徒の実態に応じて、後期以降、毎回の授業の中でタイピングの時間を設定する。 学習内容や生徒の技能取得状況に応じて、5・6グループ合同で行う場合もある。			

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		1年・普通学級・6グループ		担当者名	○近藤 匠
教科・領域名		情報			
ね ら い		(1)タブレット端末やアプリの操作方法について、基礎・応用的な知識と技能を身に付ける。 (2)タブレット端末を活用し、必要なデータを選択したり、表現することができる。 (3)情報社会におけるルールを学習し、情報収集や情報整理を行おうとする。			
曜日・校時・時間		月曜日・3時間目・9:50～10:40			
指導場所		パソコン室			
年間授業時数		35 時間			
使用教科書		やってみよう！やさしい言葉で学べる「情報」(ジーアス教育新社)			
月	単元(題材)名	指導 時数	○ねらい □主な学習内容(評価の観点)		指導の工夫
4	スマートスクール端末 について知ろう！	3	○タブレット端末の概要、情報リテラシーについて知る。 □スマートスクール端末でできること等、概要を知る。(知識・技能) □情報リテラシーについて、自身の事として考える。(思考・判断・表現)		※ 端末が整備されていないので、 教員の端末をモニターに映したり、 副教材や予備機等を活用する。
5	スマートスクール端末 を設定しよう！使っ てみよう！ 基本操作を覚えよう！ 便利な設定や使い方 を知ろう！ いろいろな入力方法を 使ってみよう！	10	○タブレット端末の初期設定を行い、入力や基本操作に慣れる。 □パスコードやパスワードの設定・管理、校内Wi-Fi接続、Teamsの設定・活用方法、 タッチペンの使い方を覚える。(知識・技能) □タッチ・タップ・ドラッグ・ドロップ・フリック・スワイプの基本操作を習得する。(思考・判 断・表現) □キーボード設定を含め、ローマ字、かな、フリック、手書き、音声などの入力方法を体 験して、自分に合った入力方法を選択する。(知識・技能)(思考・判断・表現)		・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせて 進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・一斉にタブレット端末を使用する 際は、音量に配慮する。
6					
7					
9	アプリやインターネット を使って移動教室(宿 舎や見学先)について 調べよう！	7	○文字や音声で検索キーワードを入力し、必要な情報を検索できる。 ○収集した情報を整理して、自分に必要な情報を選択できる。 ○スクリーンショット・トリミング機能やアプリ「Pages」「Keynote」などを使って、情報 をデザインする(まとめて発表する)。 □サファリで検索(宿泊場所や見学先のサイト)やアプリ「マップ」「天気」などを活用し、 移動教室(宿泊場所や見学先)の情報を検索する。(知識・技能) □検索した情報の中で、興味をもった情報を選ぶ。(思考・判断・表現) □興味をもった情報を整理して「Pages」や「Keynote」にまとめたり、「Forms」でク イズを作ったり発表する。(主体的に学習に取り組む態度)		・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせて 進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報 モラルや情報リテラシーについて指 導する。
10					
11	文化祭ポスターを作ろ う！	7	○画像情報を記録し、記録した画像を選択・活用できる。 ○選択した画像を、カレンダーデータに貼り付ける。 □カメラの基本操作を覚える。(知識・技能) □写真を開き、スクリーンショットや撮影した画像、インターネット上の画像等を選択し て、「Pages」や「Keynote」に貼り付ける。(思考・判断・表現) □必要な文字情報を入力したり、オリジナル文化祭ポスターを作成する。(思考・判断・ 表現)		
12					
1	様々な標準アプリの便 利な使い方を体験し よう！	5	○生活に役立つアプリの使い方を知る。 □「時計」のアラーム・タイマー機能を使って操作を覚える。 □「拡大機」を使って小さな物を見る。 □「計算機」を使って計算してみる。 □「計測」を使って、定規で測れない物を測ってみる。 □「ボイスメモ」を使って、伝言ゲームをする。 □「メモ」を使って、「メモ」の様々な機能を知る。 □「翻訳」を使って、日本語を英語にする。英語を訳す。 全て(知識・技能)(思考・判断・表現)		・教授的な授業にならないように、 生徒が具体的な操作を通して学べ るように、生徒のペースに合わせて 進めていく。 ・前方モニターに教員の操作画面 を投影し、学習内容や操作方法を 分かりやすく指示する。 ・生徒の状況に応じて、適宜、情報 モラルや情報リテラシーについて指 導する。
2					
3	アクセシビリティ機能 を活用しよう！	3	○自分にとって必要なアクセシビリティ機能を知る。 □アシスティブタッチ、画面表示とテキストサイズ、読み上げコンテンツ、ライブスピーチ 等の学習支援に配慮した機能を知り、自分に合った設定をする。(知識・技能)		
備考		生徒が操作になれるまでは、ICT支援員が授業に入る。 生徒の実態に応じて、毎回の授業の中でタイピングの時間を設定する。 学習内容や生徒の技能取得状況に応じて、5・6グループ合同で行う場合もある。			